

【日 時】 令和4年9月3日 14:00～Zoomにて

【出席理事】

高橋則好 高橋英一 鈴木真由美 安藤栄吾 佐藤郁子 山蔭瞬 青木和弘 鹿野詩子
海藤美紀 阿部淳士 佐藤直樹 沼澤弘喜 荒井利勝 西田直子 高橋秀典 菅野康夫
伊藤喜久子 齋藤晴美 菅原麗子
計 19名

【欠席理事】

佐藤知生 三浦由美 高瀬博行 荒井晋一 伊藤欣弥 伊藤雄介 吉田京子 村上郁子
大内剛 門脇俊宏 佐々木孝 峯田幸悦 村山紀子

1、開会

2、あいさつ(高橋則好会長)

いつもは協会事務所から理事会に参加しているが、緊急対応が入り事務所に行けず、自分の医院から参加している。Zoom開催なので、どこからでも参加できるのがメリットだと感じている。本日も、いろいろな意見を出していただきたい。

3、内容

(1)各地区支部報告

山形地区支部(海藤理事)

- ・10月14日に開催を予定しているスキルアップ研修の準備をしている。

村山地区支部(菅野理事)

- ・今回の理事会より、星川理事の後任として佐藤直樹理事が出席している。
- ・研修会について、10月29日(土)10:00～Zoomにて、認知症に関する研修会を計画し、準備をしている。

庄内地区支部(阿部理事)

- ・報告事項なし。

最上地区支部(高橋英一副会長)

- ・9月14日(水)に最上地区支部研修会を開催。県内の会員は参加可能。研修会に先立ち、理事会を開催する予定。
- ・総会は書面決議で全議案承認。

置賜地区支部(伊藤理事)

- ・総会は書面決議とし、全議案承認。
- ・8月3・4日の大雨災害に関する報告を地区支部会員に調査し報告した。
- ・地区支部研修会を10月29日にリスクマネジメント協会 梅田浩史先生をお招きし、居宅介護支援事業所におけるBCP(仮)を計画し準備している。2月の研修は、ケアタウン総合研究所 高室成幸先生をお招きする準備をしている。どちらの研修も県内会員参加可能となる。

(2)各委員会報告

専門職連携(高橋則好会長)

- ・前回理事会で話をしたとおり、専門職種連携委員会の研修を9月10日に開催する。申し込み者にパスワードと研修資料を送る予定。

講師・ファシリテーター養成研修(高橋秀典委員長)

・【講師養成研修】

11月19日(土)9:00~12:30、講師はケアタウン総合研究所 高室成幸講師で、講義・演習の際にZoomを有効に活用する方法について。

11月26日(土)9:00~12:30、講師は清幸園ケアプランセンター 村山正市講師で、講義・演習の具体的な展開方法について。

・【ファシリテーター養成研修】

12月3日(土)9:00~12:30、講師はふくしの人づくり研究所 奥田亜由子様で、オンライン(Zoom)の講義の中での、ファシリテーターとしての役割について。

- ・今回の研修は、過去3年間の受講者のブラッシュアップの目的もある。過去3年間の受講者への案内と新規受講者の推薦を9月下旬ごろに行うことを考えている。

オンライン研修準備委員会

- ・報告事項なし

広報委員会(佐藤理事)

- ・会報誌37号の10月上旬完成予定。発送作業は日程が決まり次第お知らせする。
- ・ホームページの更新勉強会を9月11日(日)10:00~行う。
→前理事の荒木さんへの謝礼について、3,000円分のクオカードとしていいか。
→承認される。

施設ケアマネ委員会

- ・報告事項なし。

主任ケアマネ委員会(阿部理事)

- ・研修会を企画し講師を選定して調整している。

会員サポート委員会(菅野理事)

- ・報告事項なし。

総務委員会(菅原)

- ・報告事項なし。

財務委員会(鈴木理事)

- ・8月2日に奥山会計事務所と打ち合わせをおこなった。事務局から出納入力できるアプリを事務局のパソコンにダウンロードして入力できるようになった。監事の件について、村山監事が退任を希望しているため、奥山会計事務所の奥山先生にお願いしたところ、引き受けてくださるとのことだった。契約の金額は上がってくることが考えられる。
→理事監事の変更について、書類等の提出が必要か。
→(高橋則好会長)登記の変更が必要なのではないか。
→(沼澤理事)会長等の代表理事が変わった場合は登記が必要だが、それ以外の理事変更は必要ないと思われる。再度確認する。

(3)新規入会者の承認

- ・新規入会申込者なし。

(4)ミルモネットについて(沼澤理事)

- ・前回の理事会時に渡した資料を参照。

ミルモネットは代表顧問を日本協会の柴口会長がしている会社で、全国展開をしている。情報公表システムと連動をしながら、ほかの情報(写真など)も入力でき、無料で使える。東北でも今後普及したいので、事業所への紹介を県協会長名連名の文書で行えないか。県協会の賛助会員にもなってくれた。

→チラシだけを入れていくのは良いが、推薦文を入れてしまうと、ミルモネットをすごく推しているように見えるのではないか。ケアマネとしては、この情報は参考になっていいものだと思うが、協会としての推薦はどうかと思う。

(5) その他(高橋英一副会長)

先日、鈴木財務委員長、沼澤事務局長、峯田監事、高橋副会長で、県庁に行き、県協会の財務が厳しいため、受託研修や補助金活用などできないか話をしてきた。

① 研修受託について

現在県社協で行っている実務者研修を手放したいと話しているため、令和5年度から受託可能になる。

→(阿部理事) 県協会のスタンスとして、以前も研修受託をして運営が難しく、返した経緯がある。事務員を増やしたらできるというものではない。実務研修は期間も長いので、受けるのは危険なのではないか。

→(沼澤理事) 事務局としては、財政が厳しいので、大きな研修を取って、その受託金の中で人員を雇ったり物品を購入したりできれば、メリットはあると考えている。会員も減っているため、財政的には何らかの研修を受けた方がいいと考える。

→(高橋英一副会長) 実務研修を受けると、ケアマネの試験にかかわる事務も付いてくるという話もあった。

→(鈴木理事) 研修を受託すれば、収入が増えるが、前回の専門研修等を手放した時は研修受託委員長や委員の負担がかなり大きく、事務局に榎本さんがいたから出来ていた。また、以前は県から受託の話が来たものだったが、今回はこちらからお願いして受託させてもらうことになるので、できなかったから辞めるということができないと考える。慎重に考えるべき。法定研修には手を出さず、今行っている委員会の研修の参加費を上げるなどを検討した方がいいのではないか。

→(菅原) 専門研修、主任更新研修などは、数年に1回受けなければならない研修なので、収入が大幅に減ることはないもの。それに比べ、実務研修は受験者が減っているのが見えているうえに、一回限りの研修なので、今後収入が増えていくものとは考えられない。事務局も、以前は研修のノウハウを持った事務員がいたからできた。ただ、人数がいればできるものではないと思う。研修受託は難しいのではないか。

→(高橋英一副会長) いろいろ話を聞いてきて、新規事業の委託を受けられるといいのではないかと考えた。が、具体的に話ができなかった。

→(高橋則好会長) できないのに受託するのは困る。どこまでどのようにできるのか自分達でわかった上で、検討していく必要があるのではないか。

② 事務局の移転の提案

移転先として提案されたのは、山形市内にある、訪問介護事業所事務所の2階を無料で提供してくれるというもの。また、年間50万で事務員が手伝うことも可能だという話だった。

→(阿部理事) 無料と言っても、他の事業所と同じところにあるのは、どうなのか。

→(菅原)ケアマネ協会事務所が、ほかの一事業所と一緒にあるというのはどうかと思う。
移転したばかりということもあるが、独立して事務局はあった方がいいのではないか。
→(高橋則好会長)いろいろ意見を聞いたが、やはり、今、移転したばかりということもあり、やっと登記も終わったので、移転はしない方向の方がいいのではないか。

・①②について、峯田監事に理事会での意見を伝える。

③佐藤副会長の業務代行について

→(高橋英一副会長)佐藤副会長は、副会長は継続だが、事務局員としては退職となる。ただし副会長としての業務も今は休んでいる状態のため分担したい。今回、理事会次第などを作成したが、片手間ではできないと感じた。理事会資料作成などを各支部長などの持ち回りはできないか。

→(沼澤理事)県からの研修会への講師推薦などを佐藤副会長がしていた。また、事務局の携帯をいつも持っている。これも輪番にできないか。

→(高橋英一会長)講師の推薦などについては、事務局が行うべきと思うが、できないのか。理事会資料については持ち回りでできないか。

→(菅野理事)事務員採用はどうなったのか。

→(沼澤理事)登記が終わらないとハローワークに求人を出せなかったもので、まだ話が進んでいない。登記が終わったので、これから進める。

→(菅原)理事会の資料作成については、持ち回りでは大変になると考えるため、総務委員として作成を引き受ける。

④東北ブロック会議・東北ブロック研修会の進捗状況について(高橋英一副会長)

東北ブロックの各支部に開催時期についてメールで問合せ、時期が決まり次第研修の内容等について検討し動いていくことになる。研修内容は前回理事会の通り。

4、その他

・次回理事会について

11月12日(土)14:00~Zoom

5、閉会